

奈良県立五條高等学校 平成 29 年度 第 1 回学校運営協議会

1 日 時 平成 29 年 5 月 23 日 (火) 15 時 00 分～16 時 45 分

2 場 所 奈良県立五條高等学校 大会議室

3 参加者 (委 員) 伊野 力平、森本 英一、米田 修三、石井 光洋、飯田 明子、
米田 正人、柳澤 佳孝、丸山 喜之、芝田 瑞也、
沼田 守弘 (本校校長)
(事務局) 廣田清雄 (全日制教頭)、福井邦裕 (全日制教頭)、山内雅雄 (定時制教頭)、
田村隆眞 (分校教頭)、堀口隆志 (事務長)、田中鈴子 (全日制総務部長)、
左川正太郎 (全日制教務部長)、高谷伸也 (定時制教務部長)、
花岡重之 (分校教務部長)、谷口達之輔 (全日制進路指導部長)

4 内 容

- (1) 校長あいさつ
- (2) 奈良県教育委員会あいさつ
- (3) 委員自己紹介
- (4) 会長あいさつ
- (5) 議案

*本年度学校運営に関する基本的な方針と重点目標(「地域と共にある学校づくり」に関する取組を含む)について

事務局(全日制教頭、定時制教頭、分校教頭)より説明。

- ・(意見)
賀名生分校の改革をはじめ、同窓会としても応援したいと考えている。
- ・(質問)
インターンシップの期間を教えてください。
- ・(回答)
医療系・看護系に絞って、3月に3日間で行っている。昨年度末には20名が参加した。
- ・(意見)
小・中・高の連携が大切と考えている。五條高校では「陸上クラブ」「水泳クラブ」がお世話になっている。ただ、少子化の影響で活動が円滑に行えない点を高校の方も理解願いたい。
さらに五條の歴史に関わる学習も進めてもらいたい。ふるさとを大事にしていく子どもたちを育てることも大切なことと考えている。
また、防災や環境の学習も大切で、特に高校生が地域に貢献できる取組をしてもらえればと思う。
- ・(質問)
賀名生分校が農業分野で来年度から全国募集を行うと聞いているが、どういう特色を持っているのか教えてください。
- ・(回答)
現在、インターンシップ(職場体験)の期間は県内でも最長だと思う。年5回、それぞれ3日程度行い、その後、アルバイトとなり、それが卒業後の進路ともなっている。小規模であるからこそ、きめ細やかな指導ができていると思っている。また分校の特徴として、一旦は本人が希望する職種に就かせているが、その後農業分野に仕事を求める卒業生もいる。また、水耕栽培や薬草等にも取り組んでいる。派手さはないが、地道にやっているのが特色である。
- ・(回答)
また平成30年度からは、校外で、1・2年生が週1回程度の総合実習・農園実習を、3年生は週1回、4年生は週2回就労(教育課程外)をさせる特色あるカリキュラムを組む予定である。学校の農場とともに農家・企業でも学び、実学重視のある意味型破りな高校を全国に先駆けて創りたいと考えている。
- ・(意見)
定時制に関して言うと、なかなか地域と関わる機会がないと思う。定時制に関わっていたが、

4年は長く、3年が適切と考えて、3修制が導入されたと思う。定時制の生徒は経済的にも苦しい場合が多く、制服もなく、通学に乗用車（免許さえあれば）も利用可であった。やはり、キャリア教育という言葉があるが、実際に働いてみないとわからない点もある。卒業生には就職しても辞めていく生徒も多かった。定時制は何年いてもいいのかと、自分の意志で決めることのできるのが定時制だと思う。年齢的にも色々な生徒がいると思うので、年上の方の意見には一目を置くと思う。そういう意味で魅力のある学校ではないかと思う。あと、転学、編入学、転科等で全日制からも受け入れが可能であり、併設校の利点を生かしてその制度も活用願いたい。

・（意見）

インターンシップで来た生徒の成長を感じる。将来的には五條市で活躍できる人材であってほしい。

・（意見）

社会奉仕できる体制を作ってほしいと思う。五條高校では地域に関わる取組を多く行われているが、ロータリークラブが後援させていただくことも考えている。また、五條以外のところに出て行つての活動も大切で、視野も広がると思うので、その点ももう一度考えてほしい。

そして、分校が農業高校として再編されるようだが、果樹園を営んでいる関係上、また分校の取組にも期待したい。

○本年度学校運営に関する基本的な方針と重点目標について、拍手により承認。

(6) その他

本年度の予定について

6月23日（金）	第1回全日制部会開催
7月19日（水）	第1回賀名生分校部会開催
9月19日（火）	第1回定時制部会開催
10月25日（水）	第2回全日制部会開催 第2回定時制部会開催
12月18日（月）	第2回賀名生分校部会開催
2月27日（火）	第2回学校運営協議会開催

学校評価について

- ・ 生徒、保護者、教員に対するアンケート結果をうけて学年末の評価を行ったものを、2月に学校運営協議会で報告し、ご意見をお伺いします。

(7) 奈良県教育委員会より講評（人権・地域教育課 小池真理 指導主事）

- ・ 各課程の先生方からは具体的な説明等もありました。また、各委員からは提案や貴重なご意見等も出されました。「地域と共にある学校づくり」ということも踏まえて、今後もお願いしたいと思えます。

先週、賀名生分校の取組に参加させていただきましたが、地域の方々から「元気をもらっている」という声も聞きました。

昨年、五高スポーツ教室の卓球にも参加しましたが、中学生がレベルの高い高校生と触れ合うこととお互いに影響を与え合っていると思います。中には、この取組を通して五條高校に入学したという話も聞きます。

ご意見の中には、防災についての話もありましたが、地域の方と一緒に防災訓練を行っている高校もあります。学校が避難場所になっていることもあるので意義があると思っています。

この「地域と共にある学校づくり」は、「学校と共にある地域づくり」とも言い換えることもできます。地域のご意見聞きながら、地域と学校が一体となって進めていただきたいと思います。また、将来生徒が地域の人材として活躍できることも期待したい。

(8) 校長あいさつ

